

坂倉儀郎君・杉山栄一君・鈴木克彦君:入会記念日です。
 佐藤徳太郎君:年間スマイルです。
 山本倫弘君:一年間よろしくお祈いします。
 清水 学君:一年間宜しくお祈いします。
 西島昭男君:山本会長、清水幹事 一年間頑張って下さい。
 堤 親朗君:山本会長、清水幹事 一年間頑張って下さい。
 小笠原一夫君:山本年度の門出を祝し、又会員の皆様の御協力をお願いします。
 土屋忠男君:山本会長、清水幹事の就任を祝って。
 道部 秉君:山本会長、清水幹事 一年間よろしくお祈いします。
 伊東哲夫君:本年度プログラム委員長です。ご協力!
 羽野久雄君:新年度山本会長、清水幹事頑張ってください。
 鈴木克彦君:山本会長、清水幹事の就任を祝って。
 西森 桂君:早退させていただきます。
 林田 充君:ソングリーダーデビューです。よろしくお祈いいたします。

卓話

新年度の抱負

会長 山本倫弘

私の本年度のテーマは、「ロータリーを楽しもう」とさせていただきます。ロータリーの創始者ポール・ハリスは「ロータリーとは何か、何千人のロータリアンに聞けば、何千通りの答えが返ってくるだろう。しかしもしロータリーが、より寛容で、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり、助け合うようにしてくれるなら、そして、人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、それが我々が求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求める事があるだろうか。」と述べています。この言葉にも表れていますようにロータリーの原点を考えた場合に、ロータリアン個人個人で考え方に相違はあると思います。しかし、先ずロータリーの原点を考えた時に、その第一は、ロータリーの綱領にも記載されておりますように「奉仕の機会として知り合いを広める事」だと思います。例会、地区大会、IM等に出席して、好意と友情を深める事だと思います。例会等に出席して、友人を増やし、親交を深め、クラブライフを楽しんでいただきたいと思います。その結果として、出席率が良くなっていく事は、私の大きな目標であります。伊東プログラム委員長にお願いして、ロータリーカレンダーに従った、月間等の場合には、例会で、関連した卓話をご準備いただくようお願いしてございます。又、ジョン・ケニー国際ロータリー会長は、「ロータリー独特



の職業奉仕への取り組みを強調する」としています。続けて、職業奉仕は「他の奉仕団体や人道団体とロータリーを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践する事によって、同僚や従業員、顧客はもちろんの事、競合相手に対しても模範を示す事ができる。」と国際ロータリー会長は述べています。職業奉仕は、ロータリーの原点であり、その精神を通じてロータリーを楽しむ事もできると思います。ロータリーの楽しみ方は、各人各様ですが、クラブである以上、クラブ定款及びクラブ細則に則り、楽しいクラブ運営を心がけたいと思います。どうぞ1年間宜しくお祈い致します。

最後になりますが、本年度からCLPを導入いたしました。これまでと委員会構成も変更いたしましたので、試行錯誤の繰り返しになるかもしれません。皆様にご迷惑を掛けることもあるかもしれませんが、ご指導の程宜しくお祈い致します。どうも有り難うございました。

卓話

新年度の抱負

副会長 クラブ管理・運営委員長 小笠原一夫

副会長を仰せつかり、ロータリーを学ぶ機会を与えられ、会長を補佐し、クラブ運営に思いを馳せると大変身の引き締まる思いがしています。



本年度はCLP採用初年度ということで、常任委員会の内、クラブ管理・運営委員会を分担させていただきます。プログラムと親睦・出席小委員会です。両小委員会共、例会運営が主たる責務と思っています。

ロータリーの公式或いは非公式の文献を見ますと、原点は親睦と奉仕にあり、それは等価値であると記されています。親睦から始まり、そのエネルギーを外にも向けられたということで奉仕の概念が生まれた様です。最初は職業奉仕から始まり、それぞれが自分の職業を通じて社会に奉仕する。奉仕するには自己研鑽を積む。それには例会に出席して色々な業種の人達と親睦を深めることにより培われると云っています。

又、あるパストガバナーは、ロータリーも社交クラブである。クラブが故に、参加者が十二分に我儘を展開することを可能ならしめているが、ロータリアンと呼ばれる細い紐で結ばれている集団、それをロータリークラブと呼ぶと云っています。そして、グループ活動を行う時には会員の主体性を充分に尊重しながら、皆のコンセンサスを得る様に努力する義務があるとも記しています。

副会長の責務に根回しがあるかなあと今思いました。清水幹事と共にお願いするケースがあろうかと思いますが、その折はよろしく御協力の程お祈い致します。